資料－5

洪水ハザードマップ認知度向上や有効活用等に関する取組状況

R7.12末時点

機関名等	①洪水ハザードマップの認知度向上や有効活用等を行うための課題等（対応に苦慮していること等） ※自由回答で記載願います	②洪水ハザードマップの認知度向上や有効活用等を行うための国への支援や協力等の要望 ※自由回答で記載願います	③洪水ハザードマップの周知方法					備　考
			対象ハザードマップ	(a) 全戸配布	(b) 説明会	(c) インターネット公開	(d) その他 （具体的な内容）	
秋田市	県管理河川について想定最大規模の浸水想定が公表されたことから、令和4年4月に水害ハザードマップを全戸配布し、各種団体へ説明会を実施したが、今後も避難意識を高めるため継続的な周知が必要である。	ハザードマップ作製等にに対する財政支援	L2 （最大）	○	○	○	・FM秋田「秋田市防災ナビ」による周知 ・市ホームページによる公開	県管理2河川が新たに水位周知河川に指定されたことから、令和7年度に一部の図郭について水害ハザードマップを更新し、対象地区の住民へ配布した。
			L1 （計画）	－	－	－		
横手市	防災講話で、ハザードマップを用いて身の回りの災害危険個所を確認する方法を周知しているが、適切な避難行動に結びつけるための取り組みが必要。	・ハザードマップ作製・更新に対する財政支援	L2 （最大）	○	○	○	・市ホームページや防災講話で周知 ・WEB版ハザードマップの運用	令和8年度に洪水ハザードマップの更新を予定している。
			L1 （計画）	－	－	－		
湯沢市	出前講座やマイ・タイムライン講習等を通じて、自分の住んでいる場所の災害リスクは承知しているものの、避難所であったり、浸水深などについては認知度が低いと感じる。 今後も引き続き、あらゆる機会を捉えて、適切な避難行動をとることができるよう、ハザードマップの活用等の普及を図っていく。	・積極的な情報発信及びハザードマップを活用したマイ・タイムラインの普及啓発 ・ハザードマップ作成にかかる手厚い財政的支援	L2 （最大）	○	×	○	市SNSを通じて周知	
			L1 （計画）	－	－	－		
大仙市	自主防災組織版ハザードマップの作成について、各組織に対する効果的な作成指導と、必要性の認識を浸透させること。	ハザードマップの作成及び自主防災組織版ハザードマップ作成促進に係わる財政的な支援	L2 （最大）	○	×	○	自主防災組織版ハザードマップの作成 市ホームページにweb版ハザードマップの掲載	
			L1 （計画）	－	－	－		
仙北市	令和3年度、全戸配布したが実際に役立ててもらえるよう日頃から周知を図る。	ハザードマップの更新に係る財政的な支援の強化。	L2 （最大）	－	－	－	・ハザードマップの全戸配布 ・市のホームページへの掲載	
			L1 （計画）	○	○	○		
美郷町	防災マップの日頃からの確認及び実際に役立てるための意識浸透。	十分な財政支援	L2 （最大）	○	×	○	ハザードマップの全戸配布 町ホームページにハザードマップの掲載 小中学校での防災教育で周知。	
			L1 （計画）	－	－	－		
羽後町	令和2年3月に「羽後町防災ハザードマップ」を最新の情報に更新し、全戸配布したほか、PCやスマホで閲覧可能なWEB版ハザードマップを運用中。 広報・町HP等で周知を行ってきたが、より効果的な周知方法を検討している。	浸水想定区域の見直しの際のハザードマップ更新に係る財政的支援。	L2 （最大）	○	○	○	町公式LINEのリッチメニュー上にバナーを貼り付けるほか、公式HPや広報で周知。	
			L1 （計画）	－	－	－		
東成瀬村	平成30年2月に村版ハザードマップを作成して全戸配布しているが、実際にマップを必要とする災害が発生しておらず、必要性の認識を浸透させること。	災害についての積極的な広報活動。	L2 （最大）	－	－	－	令和3年11月に東成瀬村自主防災組織研修会で洪水ハザードマップの活用を地区へ広報してもらえるよう周知した。	令和8年度に洪水ハザードマップの見直しを行うので、その際に再度住民に周知を行う計画である。
			L1 （計画）	○	○	○		

資料－5

洪水ハザードマップ認知度向上や有効活用等に関する取組状況

R7.12末時点

機関名等	①洪水ハザードマップの認知度向上や有効活用等を行うための課題等（対応に苦慮していること等） ※自由回答で記載願います	②洪水ハザードマップの認知度向上や有効活用等を行うための国等への支援や協力等の要望 ※自由回答で記載願います	③洪水ハザードマップの周知方法					備　考
			対象ハザードマップ	(a) 全戸配布	(b) 説明会	(c) インターネット公開	(d) その他 （具体的な内容）	
男鹿市	洪水ハザードマップは、作成していませんが、令和8年度に策定を予定している。（冊子及びWEB版）		L2（最大）	―	―	―		・公表済：津波、土砂災害、ため池
			L1（計画）	―	―	―		
潟上市	今年度末に洪水ハザードマップ（馬踏川水系）が完成する。 完成後に、ハザードマップの市民への配布、HPに掲載予定。	ハザードマップ作成・更新に係るフォローアップ及び財政的な支援等	L2（最大）	―	―	―		・公表済：津波、土砂災害、ため池 ・令和7年度末に完成予定
			L1（計画）	―	―	―		
三種町	令和6年2月にWEB版のハザードマップを公開。 町ホームページよりアクセス可能。 年数回町広報紙等で周知している。 令和8年度に更新を計画している。（冊子及びWEB版）	・ハザードマップ作製・更新に対する財政支援	L2（最大）	○	×	○	HPにて公開。町広報紙等で周知している。	・公表済：津波、土砂災害、ため池
			L1（計画）	―	―	―		
五城目町	R3年3月に作成・配布したハザードマップを更新（R8年5月予定）　WEB版については、特に高齢者を対象としたPC、スマートフォン、タブレット端末の操作から学ぶ場づくりも必要と考えるが、現状対応できていない。	・ハザードマップ作製・更新に対する財政支援	L2（最大）	○	○	○	町担当者、自主防災組織育成リーダーによる出前講座等に活用している。	・公表済：津波、土砂災害
			L1（計画）					
八郎潟町	令和4年2月に「八郎潟町災害ハザードマップ」を更新し、全戸配布した。 洪水だけでなく、津波・土砂災害・ため池を含めた総合ハザードマップとなっている。 希望する方及び転入者には窓口で配布している。	・ハザードマップ作製・更新に対する財政支援	L2（最大）	○	×	○	HPにより公表済。	・総合的な災害ハザードマップ（冊子）
			L1（計画）					
井川町	・令和8年度にハザードマップの更新を計画している。 冊子版を全戸配布しHP上での掲載も検討している。 ・災害時に有効活用出来るよう、普及啓発や認知度の向上策を検討している。	浸水想定区域の見直しの際のハザードマップ更新に係る財政的支援	L2（最大）	○	×	○	全戸配布、ホームページ公開	・今回作成したハザードマップでは、馬場目川浸水想定区域（想定最大規模）の他に、土砂災害・土石流、ため池、津波浸水想定区域等が記載されている。
			L1（計画）					
大潟村	洪水ハザードマップは、作成していません。	ハザードマップ作成に係るフォローアップ及び財政的な支援	L2（最大）	―	―	―		・公表済：津波 ・令和8年度以降作成予定
			L1（計画）	―	―	―		